
平成27年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成27年3月9日

質問者（質問順）

- 1 大貫憲夫委員（共産党）
- 2 上野盛郎委員（自民党）
- 3 渡邊忠則委員（自民党）
- 4 竹内康洋委員（公明党）
- 5 五十嵐節馬委員（民主党）
- 6 木下義裕委員（結ぶ会）

経 済 局

局 別 審 査

1 大 貫 憲 夫 委 員 (共 産 党)

1 企業誘致について

- (1) 企業立地促進条例の成果について伺いたい。
- (2) 支援額と税収額は今後どうなるのか。
- (3) 支援額と税収額の推移は何を意味しているのか。
- (4) 誘致した企業が事業継続義務期間中に、市外に転出した場合の推移はどうなるのか。
- (5) その期間が終わった後も、企業が本市に残る保証はあるのか。
- (6) 確実な保証がないなら、企業が本市に残ることを前提とした推計はやめた方が良いと思うがどうか。
- (7) 企業立地等促進条例の一部改正の内容について伺いたい。
- (8) 助成額を増やせば企業が進出するという根拠は何か。
- (9) 助成額を増やせば企業立地が増える理由はなにか。
- (10) 神奈川県は『インベスト神奈川』の内容をどうして変えたのか。
- (11) 『インベスト神奈川 2 n d ステップ』に基づき、どれくらいの企業が立地したのか。
- (12) 神奈川県は財政出動をやめても64件の立地があったが、どう考えるか。
- (13) 大規模な財政出動をしなくても、本市でも県と同じことができると思うがどうか。
- (14) 一般の企業が立地を決める際、自治体の支援策は大きな要素ではないと思うがどうか。
- (15) 支援策は、企業が立地先を決める最後の一押しだということか。
- (16) アップル社の横浜進出は、本市の企業立地促進条例と関係があるのか。
- (17) 大企業は、立地条件が自社の仕事に合致するかで来ると思うがどうか。
- (18) 助成金で誘致するのはやめた方が良いと思うがどうか。

- (19) 東京や首都圏各都市との都市間競争に勝つために、助成金の上限を50億円に増やしたのか。
- (20) 品川に負けることなく、企業を横浜に誘致する際のハードルは何か。
- (21) 企業誘致には、横浜の内在的な力をいかに発揮し、魅力をより高めるかが大事だと思うがどうか。

2 上野盛郎 委員（自民党）

1 女性の活躍支援について

(1) これまでの取り組みを通じてどのようなことが課題となっているのか。

(2) 27年度は女性起業家支援にどのように取り組むのか。

(要望) 女性が起業を決断するのは、大きな覚悟が必要だと思います。安心して事業を継続して成長していただけるよう、しっかりと支援していただきたい。

(3) 事業を推進する上でどのようなことが課題となっているのか。

(要望) こうした課題を踏まえ、支援を必要としている中小企業が女性活躍に取り組みやすくなるよう工夫を凝らしていただきたい。

(4) 27年度は中小企業女性活躍推進事業にどのように取り組むのか。

(要望) 環境整備や意識啓発を進めて、女性たちが輝けるような場を作っていただきたい。

2 創業発展支援事業について

(1) シニアの起業支援に取り組むねらいについて伺いたい。

(2) シニアの起業の特徴と27年度の取り組みについて伺いたい。

(3) ベンチャー企業の成長・発展を支援するためにこれまで行ってきた取り組みと実績について伺いたい。

(4) ベンチャー企業ビジネスパートナー発掘支援事業のねらいについて伺いたい。

(要望) 行政等が持っている情報は、創業支援やビジネスチャンスに繋がっていくと思いますので、広めていただくよう要望します。

3 中小企業の人材確保・育成について

(1) この事業のねらいについて伺いたい。

(2) 具体的にどのような支援を行うのか。

(3) 建設業における人材確保の場づくりについて伺いたい。

(4) ものづくり人材育成支援事業の27年度の取組内容について伺いたい。

4 市内中小企業の海外展開支援について

- (1) 国際ビジネスに関する相談件数、相談の多い地域及び相談内容について伺いたい。
- (2) 海外展開に取り組む中小企業に対し、どのような支援を行っているのか。
- (3) 海外市場の開拓支援の具体的支援内容と支援実績について伺いたい。
- (要望) 海外進出を考えている企業は、正確で新しい情報を、より多く入手したいので、ぜひともよろしくお願いします。
- (4) 支援によってどのような成果が出ているのか。
- (5) 海外事務所を今後どのように活用していくのか。

5 商店街の振興について

(1) 商店街創生事業

- ア この事業の目的や内容について伺いたい。
- イ どのような事業を支援の対象と想定しているのか。
- ウ 事業の期待される効果について伺いたい。

(意見) 意欲のある商店街が事業に取り組みやすくなるように、補助制度を分かりやすく、使いやすいように工夫し、補助金が終了した後も事業が継続できることを期待します。

(2) 商店街第二創業支援事業

- ア 第二創業支援の目的と支援内容について伺いたい。
- イ 個店だけでなく商店街全体にとって、どのような効果を期待しているのか。
- ウ 各個店へこの事業をどのように周知していくのか。

(要望) 事業継承がうまくいかないところもありますが、やる気は必ずあるので、そういった潜在する力を集めて支援し、商店街を元気にしていただきたい。

(3) 商店街まるごと再生支援事業

- ア この事業の目的や内容について伺いたい。
- イ 事業の特徴について伺いたい。
- ウ 27年度の取り組みについて伺いたい。

(意見)「商店街の活性化に関する条例」を契機にして、元気にしていただくのはもちろんですが、大切なのは継続することだと思います。ぜひとも経済活性化、景気回復を期待します。

3 渡 邊 忠 則 委員（自民党）

1 京浜臨海部の機能強化について

(1) 京浜臨海部でこれまでどのように取り組んできたのか。

(2) 京浜臨海部活性化協議会の取り組み

ア 京浜臨海部活性化協議会の26年度の実績について伺いたい。

イ 立地企業から具体的にどのような声が出されているのか。

ウ 協議会が27年度に取り組む内容について伺いたい。

エ 中小企業との連携に向けた協議会の取り組みについて伺いたい。

(意見) 27年度の取り組みが具体的な成果に結びつくことを期待します。

(3) 横浜サイエンスフロンティア地区の取り組み

ア 横浜サイエンスフロンティアのねらいとこれまでの取り組みについて伺いたい。

イ 横浜サイエンスフロンティアにおいて、ライフサイエンス分野でこれまでどのような成果が出ているのか。

ウ どのような研究開発を行っている企業が入居しているのか。

エ 入居企業をはじめ市内のベンチャー企業に対して、どのような経営支援を行っているのか。

オ 「リーディングベンチャープラザ」に入居する企業には、どのような支援の強化を考えているのか。

(要望) 横浜経済が活性化していくためには、多くのベンチャー企業が元気に成長・発展していくことが欠かせません。今後も、より一層力を入れて支援に取り組んでいただきたい。

(4) 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区

ア 国際戦略総合特区の指定を受けた目的について伺いたい。

イ 末広地区ではどのような取り組みが行われているのか。

ウ 横浜プロジェクトはどのような考え方で選定しているのか。

エ これまでの総合特区制度のメリットの活用実績はどうなっているのか。

オ 特区リーディング事業助成のこれまでの実績と成果はどうなっているのか。

カ 横浜プロジェクトへの支援を進める上での課題は何か。

キ 27年度は、どのように横浜プロジェクトへの支援を強化するのか。

(意見)残り2年程度の限られた期間の中で、着実に成果へ結び付けていけるよう、
関係事業者への支援の充実を期待します。

(5) 京浜臨海部研究開発拠点機能強化事業

ア 事業の対象地区として、なぜ守屋・恵比須地区を選定したのか。

イ 事業のねらいについて伺いたい。

ウ 研究開発向け賃貸施設をどのように整備・運営するのか。

エ 27年度の取組内容について伺いたい。

(6) 今後の京浜臨海部機能強化の考え方について伺いたい。

(要望) 経済局には、京浜臨海部の機能強化を推進するけん引役となっていていただく
ことを強く要望します。

4 竹内康洋委員（公明党）

1 女性・若者の就労支援と職業訓練校について

- (1) 就職サポートセンターに配置される専任の女性相談員の役割は何か。また、その他、女性の就労支援で強化した点は何か。
 - (2) 若者の正規雇用に向けたインターンシッププログラムを、どのように工夫して進めていくのか。
 - (3) 横浜市中央職業訓練校の26年度の主な訓練内容や定員・応募者数・応募倍率はどのようになっているのか。
 - (4) 横浜市中央職業訓練校では、どのような点に力を入れて訓練を進めているのか。
- (要望) 市民に最も身近な自治体として、一人ひとりの状況に寄り添った就労支援を行い、一人でも多くの市民が就労に結びつくよう取り組みを強化することを要望します。

2 女性・シニアの起業支援について

- (1) 女性起業家メンター事業の26年度の実施状況について伺いたい。
 - (2) 27年度はメンター事業をどのように充実させていくのか。
 - (3) 27年度のシニア起業支援事業の内容について伺いたい。
 - (4) 女性やシニアの起業を支援する融資制度の取り組みについて伺いたい。
- (意見) 資金繰りも視野に入れた総合的な支援を行うことで、横浜経済の活性化につなげていただくことを期待します。

3 消費者行政について

- (1) 26年度上半期の横浜市消費生活総合センターに寄せられた消費生活相談件数と前年度との比較、相談者の年代別相談件数の特徴について伺いたい。
- (2) 消費者教育推進にあたり、何を重点にするのか、また消費者教育推進計画の策定をどのように進めていくのか。

(要望) 消費者被害を未然に防止するためには「消費者教育推進の方向性」を分かりやすく示していくとともに、特に高齢者については、高齢者本人だけでなく、高齢者を見守っている方への啓発が大切であると考えますので、しっかりと取り組んでいただくよう要望します。

4 中小企業の成長力強化について

(1) 中小製造業の新技术・新製品開発を支援するためにどのような取り組みを行っているのか。

(2) 26年度の助成金交付決定件数はどうなっているのか。

(3) 中小企業新技术・新製品開発促進助成において、助成対象の審査はどのように行っているのか。

(4) テクニカルショウヨコハマにおいて、市内の中小製造業の成長発展を支援するため、どのような工夫をしているのか。

(5) 中小製造業の販路開拓に向けた支援の取り組みについて伺いたい。

(要望) 横浜の誇りを持って発信するといった観点からも、支援をお願いしたいと思えますし、そうした中小企業の取り組みにも焦点を当てて、これからも取り組んでいただきたい。

5 市内中小企業の海外展開支援について

(1) 姉妹都市等の現地経済機関とは、何を指し、具体的にはどのような機関があるのか。

(2) 姉妹都市等以外で、覚書を締結している海外経済機関にはどのようなものがあり、実績はどうか。

(3) 本市海外事務所のほか、ジェトロや海外経済機関とのネットワークをどのようなことに活用していくのか。

6 成長発展分野の強化について

(1) 経済局として、「健康」分野に取り組む目的は何か。

- (2) 総合特区制度を活用して進めている健康関連プロジェクトの現状について伺いたい。
- (3) 26年度の健康長寿ビジネス関連の取組内容について伺いたい。
- (4) 27年度に力を入れて取り組む点は何か。

7 中央卸売市場の活性化について

- (1) 市場の豊かで健康的な食文化を育むための取り組みについて伺いたい。
- (2) 市場における地産地消の取り組みの発信について伺いたい。
- (3) 恵まれた立地特性を踏まえた本場の活性化について伺いたい。
- (要望) 都心臨海部という恵まれた立地特性を踏まえ、本場の活性化を客観的な視点で考えていただきたい。

8 商店街関連調査事業について

- (1) 調査の目的について伺いたい。
- (2) 次回に予定している調査項目について伺いたい。
- (3) 調査結果の活用について伺いたい。
- (4) 街づくりの観点からも商店街を活かした政策を進めていくべきだと思うが、副市長の見解を伺いたい。

1 商店街の振興について

（1）ガチ！シリーズ

ア 本事業の目的と今まで開催してきた効果について伺いたい。

イ イベント終了後の支援をどのようにしていくのか。

（2）空き店舗活用事業（チャレンジショップ事業）

ア チャレンジショップ事業の目的と支援内容について伺いたい。

イ チャレンジショップの26年度の開業状況について伺いたい。

ウ チャレンジショップ参加者が本格出店するために、どのような支援が必要か。

（意見）これから希望溢れる参加者が商店街で活躍できるよう支援を期待しています。

（3）第二創業支援事業

ア 業態変更、業種変更とは、具体的にはどのようなことを指すのか。

（意見）地域の方が利用したくなる店舗がますます増えるような支援を期待します。

（4）商店街創生事業

ア 事業の特徴について伺いたい。

（要望）高齢化が進展する中、近くで買い物ができる商店街は、今後、地域コミュニティにとって重要性が高まります。より多くの商店街が地域のニーズに応えられるように、今後もしっかりと支援を行っていただきたい。

2 成長・発展分野の強化について

（1）成長・発展分野の強化について、どのように進めていくのか。

（2）植物工場推進事業のねらいと取組内容について伺いたい。

（要望）活力ある都市農業の展開にも繋がる可能性のある植物工場に期待していますので、しっかりとした支援をお願いします。

（3）MICE関連産業強化事業のねらいと取組内容について伺いたい。

- (4) 成長分野に参入した企業をさらに発展させるためにどう支援するのか。
(要望)成長・発展分野の強化が中小企業の成長につながることを強く要望します。

3 中小製造業の支援について

- (1) 「現場訪問支援事業」の活動実績について伺いたい。
(2) 「現場訪問支援事業」では、どのような意見があったのか。
(3) 27年度予算において、具体的な施策として実現したものはあるのか。

4 3D技術支援事業について

- (1) 3Dプリンターを活用しようとする際に、市内中小製造業にとってどのようなことが課題となっているのか。
(2) 技術的に難しいとされる3D-CADについては、どのような支援を行っていくのか。
(3) 相談窓口を開設し、情報提供を行うと聞いていますが、その内容について伺いたい。
(意見) わかりやすい情報提供を行い、利用企業のニーズに沿った効果的な支援を行っていくことを期待します。

5 女性の活躍支援について

- (1) 26年度の横浜ウーマンビジネスフェスタの開催実績について伺いたい。
(2) 27年度の横浜ウーマンビジネスフェスタの拡充内容について伺いたい。
(3) 27年度の中小企業女性活躍推進助成金の拡充内容について伺いたい。
(意見) 女性の活躍推進に取り組むための費用がネックとなっている企業もあるか
と思います。こうした支援により、一層取り組みが進むことを期待します。
(4) 横浜市就職サポートセンターにおける女性に対する就労支援の取組実績について伺いたい。
(5) キャリアブランクのある女性の就労支援に取り組むにあたって、特に重要な
点は何か。

(要望) 今後も、女性のニーズにあった「女性が働きやすい・働きがいのある都市」を目指して支援を進めていただきたい。

6 中小企業融資事業について

(1) 27年度予算案では、どのような視点で制度の拡充等を行っているのか。

(要望) 今後とも、市内中小企業への支援について、積極的な取り組みをお願いします。

6 木下義裕委員（結ぶ会）

1 シニアの活躍支援について

- (1) 中小企業支援におけるシニア活用の重要性について、どのように認識しているか。
- (2) ベンチャー企業顧問派遣事業の内容とシニア人材を活用した成果について伺いたい。
- (3) シニアが意欲と能力を活かして活躍できるような社会を築いていくべきと考えるが、副市長の見解を伺いたい。
- (4) 本市においても、高齢者が65歳以上とされていることについて、副市長の所感を伺いたい。

2 内陸部工業集積地域への取り組みについて

- (1) 工業集積の維持等を図るためのこれまでの取り組みについて伺いたい。
 - (2) 市内の事業所が市外へ転出した理由は何か。
 - (3) 内陸部工業集積エリア実態調査事業の目的について伺いたい。
 - (4) 調査の具体的な方法について伺いたい。
 - (5) 調査・検討を進める上で、参考となる他の自治体の先進事例について伺いたい。
- (要望) 事業を進める上では、他都市の先進的な事例を参考にさせていただきたい。

3 金沢産業団地周辺エリア医療関連企業等集積検討事業について

- (1) 事業の目的は何か。
- (2) 27年度の事業内容について伺いたい。

4 企業誘致促進助成事業について

- (1) 条例による支援と企業誘致促進助成事業による支援との違いについて伺いたい。

- (2) 企業誘致促進助成事業による、過去3年間の誘致実績や傾向について伺いたい。
- (3) 企業誘致促進助成事業の見直しの内容と27年度予算を減額した理由について伺いたい。
- (4) 観光・MICEを新たに助成対象とした理由及びどのような業種を想定しているのか。